

競技審判上の注意

【全般的事項について】

1. この大会は、全国私立高等学校選抜バドミントン大会実行委員会が定めた大会実施要項、令和 8 年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規定及び同公認審判員規定により行います。
2. 審判はすべて相互審判で行います。サービスジャッジは原則としてつけません。
 - ※サービスの遅延等の行為がないよう各校でご指導願います。注意が必要な場合はその旨をレフェリーに伝えてください。
 - ※審判要員として、監督の管理下においてメンバー登録外の生徒を競技エリアに入れることを認めます。
3. 選手は余裕を持って会場に到着し、必ず「会場受付」を済ませて下さい。
4. 競技の進行を円滑に進めるために、「受付」「集合」等の時間厳守に努めて下さい。
5. 試合の進行状況に応じて、予定された試合の開始時刻やコートを変更することがあります。コールには十分注意して下さい。
6. 試合が連続する場合のインターバルは、次の通りです。
 - ※学校対抗戦が連続する場合 15 分とします。
 - ※2 コート以上並行して試合を行い、同一選手が連続して試合をする場合は 10 分とします。
7. 各試合（マッチ）のインターバルは、次の通りです。
 - ※全てのゲームで、一方のサイドが 8 点になったとき 60 秒を超えないインターバルを認めます。
 - ※ゲームとゲームの間に、120 秒を超えないインターバルを認めます。
8. 全てのゲームで、一方のサイドが 8 点になったとき、及び各ゲーム終了時に指示・助言をすることが出来ます。この際の場所は、競技区域内に限定し次の条件に従って下さい。
 - ※どちらのサイドも 2 人までコートに入ることが認められています。その際には、各ゲーム終了時ではエンドを変えた後に入り、主審が「（コート番号）20 秒」とコールしたらコートから離れて下さい。
9. 試合（各マッチ）中の選手の水分補給を認めます。その際には必ず主審の許可を取って下さい。
 - ※ベンチへのクーラーボックスの持ち込みは禁止します。
 - ※容器は倒れてもこぼれないスクイーズボトル、または蓋付き容器を使用し、各自のラケットバッグ等に入れてください。
 - ※体力回復をはかっていると思われる行為は慎んでください。
 - ※氷嚢の使用はインターバル中のみとします。
10. 次のような違反行為に対しては、厳正に処分をします。
 - ※息切れなど、体力回復等の遅延に関わる行為。
 - ※インプレー中に指示やアドバイスをすること。
 - ※主審の許可なしにコートを離れること。
 - ※故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。
 - ※審判員や観客に対して横柄な振る舞いや下品で無礼な態度・言動。
 - ※ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や奇声を発するなどの不品行な振る舞い。
 - ※見苦しい着衣でプレーすること。

11. 競技中は、必ず学校名・都道府県名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンをつけてください。
※背面の文字は明確に判読できるもの
12. 競技中の怪我や病気の対応のためにコート内に入ることが許されるのは、通常、医師などの他、必要と認められる競技役員に限られています。
13. 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対し質問がある場合には、次のサービスがなされる前に「質問」をすることができます。ここで質問ができるのは、当該選手と監督に限ります。
14. 監督・コーチは競技区域に入るため、必ず体育館シューズ（競技用のもの）着用をお願いいたします。また服装に関しても見苦しいもの（襟無しシャツやハーフ及び七分丈パンツ等）は避けてください。
15. シャトルに回転を加えてから打つ、通称「デコピンサーブ」はフォルトとします。
16. その他は監督会議における打ち合わせ事項に準じます。

【試合運営方法について】

1. 監督・コーチ・マネージャー及びプレーヤーの変更受付は、監督会議（8月25日14時）をもって最終のものとし、以後の変更は一切認められません。
2. オーダー用紙（3枚複写：自校用・対戦チーム用・本部用）は監督会議で渡します。
3. オーダー用紙は、各試合開始時刻の30分前までに本部席（オーダー提出所）へ提出してください。
※予選リーグに関しては、前の試合後速やかに提出してください。
※準々決勝・準決勝・決勝については、オーダー交換とします。
4. 団体戦開始時（挨拶時）には必ず監督も整列をしてください。監督不在の場合、原則としてその対戦は全て没収となり、オープン形式での参加となります。
5. 競技フロア内では、監督・コーチ・マネージャー及びプレーヤーの携帯電話、パソコンなどの電子機器やカメラの使用を禁止します。競技フロアでは、電源をOFFにしてください。
6. 「コーチングシート」はプレーヤーサイドを使用して下さい。
7. 試合開始前の練習は、対戦チームと挨拶を交わした後、主審の指示で各マッチ2分間です。
8. 試合は、初回戦よりコートを並行して行うことがあります。

【試合進行について】

1. 放送（試合のコール）が流れたら、すぐに対戦校のうち、左側に記載されている学校が審判用紙・シャトル1ダースなどを本部席に取りに行ってください。
2. 線審は対戦校から1名ずつ、主審1名と得点表示係1名は1マッチごとに担当校を交代してください。
3. 各マッチ（単複の試合）前に2分間の練習を行います。
4. 試合終了の挨拶の後、審判用紙とシャトル（全てのシャトル）を本部席へ持って行ってください。
5. 予選リーグ戦においては、どちらかのチームが『オーダー順に』3点先取した時点で対戦を終了してください。トーナメント戦においては、どちらかのチームが3点先取した時点で対戦を終了してください。